

# 久留米藩領文化

— 祈りのかたち・風雅のこころ —



久留米入城  
400年  
記念企画展Ⅲ



令和3年

12/11 (土)

令和4年

4/4 (月)

有馬記念館

Arima Memorial Museum

開館時間 = 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 = 毎週火曜日、年末年始(12/28-1/1)

会場 = 有馬記念館 2階資料展示室  
(福岡県指定史跡久留米城跡内)

主催 = 公益財団法人有馬記念館保存会  
久留米市・久留米市教育委員会



2021年、有馬豊氏が久留米藩21万石の藩主として、初めて久留米城に入ってから400年を迎えました。





三谷永伯筆《源平合戦図屏風(一ノ谷・屋島)》 江戸時代中期 有馬家蔵  
久留米藩お抱え絵師の技術の高さを示す、平家物語にもとづいた合戦図屏風の傑作。



《金梨地唐草に龍胆車紋三つ巴紋時絵太刀拵》  
江戸時代後期 有馬家蔵

有馬家の家紋が散らされた豪華な拵。家格の威厳を示す公的な場で用いられた。



《江南山玉垂宮神幸絵巻》

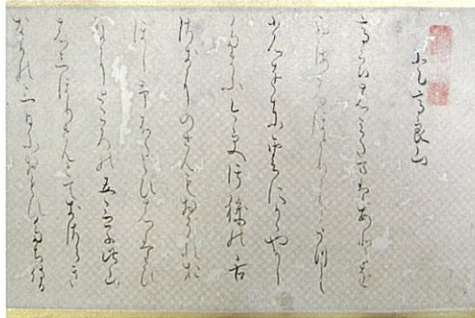
江戸時代後期 久留米市教育委員会蔵

江戸時代に久留米藩によって復興された、高良大社の御神幸が描かれている。



三谷永伯筆《江南山図(伽藍図、靈廟図、臨川亭図)》  
江戸時代中期 梅林寺蔵 ※展示替あり

有馬家の菩提寺である梅林寺とその周辺の、江戸時代の景観を伝える三幅対の絵画。



志太野坡筆俳文《登高良山》

江戸時代前期 久留米市教育委員会蔵

松尾芭蕉の高弟・志太野坡が、久留米の高良山に詣でた折にしたためたもの。



桂永寿作《十二放駒図鐘》

江戸時代後期 久留米市教育委員会蔵

手のひらに収まる大きさの鐘に、野を駆ける馬たちが線彫りされている。



《柳原焼黄釉肩衝茶入》

江戸時代後期

久留米市教育委員会蔵

書画や能にも通じた、久留米藩主9代有馬頼徳が自ら制作した茶入。



《巴紋時絵天目台》

江戸時代

久留米市教育委員会蔵

久留米藩主4代有馬頼元が創建した、東林寺の旧蔵品。

# 久留米藩領文化

祈りのかたち・風雅のこころ

前期展示 令和3年 12月11日(土) 2月7日(日)  
後期展示 令和4年 2月9日(水) 4月4日(月)

今から400年前、有馬豊氏が久留米城入りして以降、久留米藩領内では、歴代藩主によって藩領の安定と経済の発展が図られるとともに、大名家の格式にふさわしい文化が形づくられていきました。  
本展では、茶道や詩歌に優れた大名有馬家の側面を伝える書画や工芸のほか、その帰依を受けた寺社に伝わる資料を公開し、有馬家が治めた約250年の間に、久留米藩領内で花開いた様々な文化の姿をたどります。

## 公益財団法人有馬記念館保存会

〒830-0021 福岡県久留米市篠山町444 TEL/FAX.0942-39-8485  
<http://www.arimakinenkan.or.jp>

- 本企画展に関する情報に変更があった場合には、当館ホームページ、フェイスブックによりお知らせいたします。
- 当館ホームページに、「久留米入城400年特集ページ」を開設しています。



入館料 一般210円(150円) / 高校生以下 無料

※( )内は15名以上の団体料金  
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳または療育手帳の交付を受けている方及びその介護者1名は無料(受付で手帳をご提示ください)  
※上下階の移動には、車椅子対応のエレベーターがございます。  
※1階の多目的トイレは、車椅子でもご利用いただけます。



- JR久留米駅から徒歩約15分
- 西鉄バス(系統番号8番) 乗車、「大学病院」下車、徒歩約5分
- 九州自動車道「久留米インター」から国道210号をJR久留米駅を目指して西進、車で約20分

音声コード  
Uni-Voiceコード対応の携帯電話やスマートフォンで展示会についてご案内

